

トピックス1

ソフトバレーボール大会開催

春の駅伝、夏のフェスタ、秋の運動会、冬のグランドゴルフに続き、今年最後の厚生行事であるソフトバレーボール大会が開催されました。11月18日(金)から11月30日(水)の間、全91チーム(643名)が、8ブロックに分かれて試合を行いました。笑いあり、好プレーあり、珍プレーありの白熱した試合が繰り広げられました。



トピックス2

「青少年のための科学の祭典 2011倉敷大会」に出展しました!

11月19日(土)、20日(日)の両日、ライフパーク倉敷において「青少年のための科学の祭典2011倉敷大会」が開催され、当事業所からも出展しました。

「スライムを作ろう」は子どもたちに大人気で整理券の配布では長蛇の列。「LEDの白い光を作ろう」では、光の三原色の不思議を体感してもらいました。



スライムを作ろう



LEDの白い光を作ろう

職場紹介

ポリオレフィン製造部 ポリオレフィン1課

仕事内容

私たちの職場では、生活用品に欠かせないプラスチックの原料であるポリプロピレンを製造しています。わが課の自慢の製品「ウィンテック」は、新世代の触媒を用いており、従来品より均質で加工しやすく、透明性の高い、期待のポリプロピレンです。

トピックス

私たちの職場ではコミュニケーションを大切にしています。普段から職場で緊密に連絡をとることはもちろんですが、自分たちの職場以外の関係部署とも交流を深めるため、親睦行事を企画し信頼関係を築いています。これが安全・安定操業の土台になっています。

コメント

私たちは、資源や環境問題、安全操業に真摯に取り組むとともに、コンプライアンスの遵守を徹底していきます。ポリプロピレンの製造を通じて社会へ貢献して参りますので、宜しくお願いいたします。



集合写真

編集後記

さて、第14回目の発行となりました本紙ですが、今回は、皆様のご理解を戴きながら操業してきました当事業所の沿革を写真付きでまとめてみました。編集にあたって過去の写真を紐解いてまいりましたが、たくさんの懐かしい写真に巡り合い、あらためて月日の経過と歴史の重みを感じた次第です。

今年は辰年。「辰」の字には「振興」の「振」のつくりにも使われているように「ふるう」「ととのう」という意味があるようで、元来は草木の形が整った状態を表しているようです。我々も、この事業所の歴史を見据えながら、更に「ふるう」、昇り龍の勢いで頑張っていきたいと思います。(総務部総務グループ)

Good Chemistry for Tomorrow

三菱ケミカルホールディングスグループ

編集／発行：三菱化学株式会社

水島事業所 総務部 倉敷市潮通3-10

本紙をご希望の方は郵送致しますので、総務部 (TEL:086-457-2101)までご連絡ください。

※表紙イラスト：(C)esfactory

もっと身近に ふれあい化学

三菱化学

2012.1
January No.14

三菱化学株式会社 水島事業所



大久保 和行

石川 甚秀

事業所長 交代のご挨拶

三菱化学(株)水島事業所長
大久保 和行

このたび、1月1日付で水島事業所長に就任しました大久保です。

昨今、世界的に石化を取り巻く環境が厳しい中で、この水島事業所がアジアで勝ち抜けるよう誠心誠意職務にあたる所存です。地域の皆様におかれましては、共存・共栄の精神で共に歩んで参りたいと考えておりますので、これまで同様、事業所の運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

三菱化学物流(株)取締役副社長執行役員
石川 甚秀

このたび、1月1日付で三菱化学物流(株)取締役副社長に就任いたしました。

水島事業所在任中は、事業所の運営にご理解ご協力いただき誠にありがとうございました。製造課長として約20年、そして2008年から3年10ヶ月お世話になった水島の地を離れることは残念でありませんが、水島で得た経験を新任地で発揮していく所存です。今まで本当にありがとうございました。

謹んで
初春の
お慶びを
申し上げます

水島事業所の沿革

水島事業所は操業開始から48年。大久保新事業所長を迎え、新体制での運営がスタートしました。新年号では、新体制を迎えるにあたり、今までの事業所の沿革を年表形式で皆さんと振り返りたいと思います。



埋立地の様子

エチレン1系スタート



昭和60年透湿性フィルム工場周辺の様子



豆乳棟の外観



地域広報紙創刊号発行

西日本エチレン有限責任事業組合設立



倉敷・水島の動き	西暦	元号	水島事業所の動き
	1961	昭和36年	水島立地計画本部設置
	1963	昭和38年	広江団地内に社宅12棟が完成
	1964	昭和39年	化成水島設立/エチレン1系スタート
倉敷市・児島市・玉島市が合併し倉敷市に	1967	昭和42年	エチレン2系スタート
	1968	昭和43年	エチレン3系スタート
第1次オイルショック	1973	昭和48年	化成水島から三菱化成水島工場となる
	1974	昭和49年	
山陽新幹線新倉敷駅開業 水島緑地福田公園開園	1975	昭和50年	
第2次オイルショック	1979	昭和54年	
	1983	昭和58年	豆乳製造開始
	1985	昭和60年	透湿性フィルム製造開始
瀬戸大橋完成	1988	昭和63年	ハードディスク製造開始/高圧ガス自主保安認定取得
	1990	平成2年	光磁気ディスク製造開始
	1992	平成4年	豆乳生産休止
	1994	平成6年	三菱化成と三菱油化合併 三菱化学水島事業所となる
玉島ハーバーブリッジ完成	1996	平成8年	
	1997	平成9年	高圧ガス自主保安認定4年化取得
	2000	平成12年	ハードディスク製造停止
水島港が特定指定港湾に	2003	平成15年	RING I (海底パイプライン防護設備) 完成
船穂町、真備町を倉敷市に編入	2005	平成17年	中国電力との蒸気連携スタート
液化天然ガス (LNG) 受け入れ 基地が操業開始	2006	平成18年	RING II (液化炭酸ガス冷熱回収) 完成
	2008	平成20年	地域広報紙 創刊号発行
	2009	平成21年	RING III (原料多様化・エチレン分解炉新設) 完成/エネルギー連携 (燃料転換) 完成
	2010	平成22年	リチウムイオン2次電池 正極材製造開始
	2011	平成23年	旭化成ケミカルズとのエチレン統合に向けて「西日本エチレン有限責任事業組合」を設立/窒化ガリウム液相法結晶成長設備の試作設備 着工
	2012	平成24年	新年スタート!

石油化学プラント拡張期

機能商品分野への進出

地域連携の強化

建設当初の広江団地



昭和40年代の広江団地



ハードディスク出荷式



建設中のボイラー・集合煙突



RING III (原料多様化)



RING I (海底パイプライン防護設備)



正極材製造開始

